

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 来年度の予算編成方針について	来年度の予算については3月定例会で議論が交わ
	されますが、12月に入り各課からの予算要求も出て
	いると思います。今後、女川原子力発電所関連の固
	定資産税の増加が見込まれますが、その中で、将来
	への手堅い貯蓄と未来への大胆な投資を合わせなが
	ら、持続的な町づくりへの運用が求められますが、
	予算編成における基本姿勢と重要施策について、町
	長の見解を伺います。
2 町職員の働きやすい環境づくりについて	(質問の相手：町長)
	地方公務員の副業は「原則禁止」ですが、首長な
	ど任命権者の許可を得れば可能となっています。地
	方公務員の離職が深刻化している中で、社会貢献と
	なり得る副業を積極的に許可する制度を設ける自治
	体や、勤務時間にフレックスタイムの導入をする自
	治体もあります。公のために働く職業意識を高める
	取組も必要ですが、柔軟な職場環境も重要視されて
	います。これらを踏まえた町職員の働きやすい環境
	づくりについての見解を伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 観光振興について	(1) 地域の顔でもある商店街は、その町の活力の
	バロメーターにもなります。本町では復興のシ
	ンボルとされた駅前商店街がそれに当たります
	が、近年では空き店舗も目立ち始め、常態化し
	ている区画も散見されます。施政方針では、従
	来からスタートアップ支援への取り組みや創
	業・事業継承支援に加えて関係団体との連携に
	ついて述べており、施策の更なる推進による商
	店街の活性化が期待されます。現状の認識と今
	後の施策について、町長の見解を伺います。
	(2) 宿泊施設は長期滞在者の減少や新型コロナの
	影響を受けています。
	宿泊施設の安定した経営は、町内の活性化や
	安定した雇用の確保にもつながります。宿泊促
	進策として団体旅行へのバス助成金やクーポン
	券事業などは誘客促進につながり、女川に気付
	く「きっかけづくり」に効果的と考えます。
	本町の宿泊促進に向けた今後の取組について
	伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)